

通いの場を多世代の視点から見る：世代間交流の深さのレベル①

場所や関わる世代、内容が異なる世代間交流を一つの視点で見る方法として交流の深さで捉える考え方があります。

浅い

①異世代のことについて学ぶ

②異世代グループと間接的に交流する

③お互いに会う

④一年に一度、もしくは定期的な交流活動

⑤数年間の予算化された事業に基づく活動

⑥継続的な世代間交流活動

⑦継続的かつ自然な世代間交流・世代間支援とコミュニケーション

深い

どのレベルが良いか悪いか
ではない。それぞれが必要。

レベルを上げるには他の団体、
専門職と連携が必要

(Kaplan, M. 「Intergenerational Programs in Schools: Considerations of Form and Function, 2002」より)

通いの場を多世代の視点から見る：世代間交流の深さのレベル②

意識や行動を変えるにはレベル4以上の交流の深さが必要。

浅い

①異世代のことについて学ぶ

②異世代グループと間接的に交流する

③お互いに会う

④一年に一度、もしくは定期的な交流活動

⑤数年間の予算化された事業に基づく活動

⑥継続的な世代間交流活動

⑦継続的かつ自然な世代間交流・世代間支援とコミュニケーション

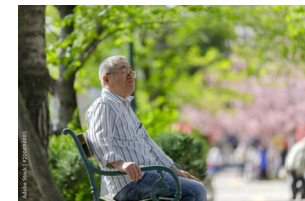
深い

- 他の世代に対する意識を変えたい
- 地域社会に対する意識やまちへの愛着を醸成したい。
- 参加者の自尊感情、自己肯定感を向上させたい。
- つながりを強化したい。
- 身体機能・認知機能の低下を予防したい。

レベル4以上の交流の深さが必要

(Kaplan, M. 「Intergenerational Programs in Schools: Considerations of Form and Function, 2002」より)

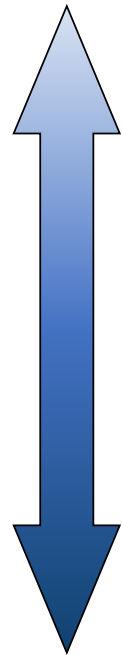
レベル別の内容:子育て世代と 高齢者助け合うまちづくりの例



ポールウォークをタイプ0の近くに

世代間交流の深さと通いの場タイプ0を合わせて見ると

浅い



深い

①異世代のことについて学ぶ

居場所があることを知る・自分の居場所で過ごしている

②異世代グループと間接的に交流する

タイプ0の居場所をチラ見する・自分の居場所以外へ興味

③お互いに会う

タイプ0の居場所に座ってみる・一人で過ごす

④一年に一度、もしくは定期的な交流活動

タイプ0に時々通うようになる・他の人に声をかけられる

⑤数年間の予算化された事業に基づく活動

タイプ0の常連になる・他の人に声をかける

⑥継続的な世代間交流活動

タイプIやII、IIIへの関心、参加、支援

⑦継続的かつ自然な世代間交流・世代間支援とコミュニケーション

自分のいたい場所があり、やりたい事が健康で続けられる